

報 告 書

開催日時	平成29年7月21日(金)		19時00分 ~ 20時45分		
自治協議会名	阿保地区住民自治協議会	開催場所	阿保地区市民センター分館		
出席議員	赤堀 久実、西口 和成、上田 宗久、岩田 佐俊				
	司会者	赤堀 久実	記録者	上田 宗久	報告者
参加人数	17 名				

【主な意見・提言等】

<庁舎関連について>

- ・合併時にあった「小さな本庁、大きな支所」の構想は説明も無く消えてしまったのは何故か。
- ・新庁舎について、遠方から出かける市民にとって楽しみが増えるような工夫をしてほしい。
(お金をあまりかけず目玉となるようなもの・・・食堂や自販機など)
- ・「南庁舎の改修」が議論されているが、観光の核たる伊賀上野城を中心にした賑わいを創出することの議論が先決ではないか。お金を産むような施設でなければいけない。公共施設より商業的魅力がある施設にすれば人は集まってくると思う。

<青山支所関連>

- ・青山支所周辺施設等複合化施設整備基本構想は、行政が説明に来るたびに内容が変更されている。(26年度に図書館・公民館も複合化⇒29年度に残す計画になっていた事など)
- ・大村神社を中心にした歴史まちづくり事業は国費45%残りは市負担となっているが、本当に市は財源措置してくれるのか。(地元で負担金が発生すると事業は断念せざるを得ない)
- ・青山支所周辺のため池ハザードマップによると、さくら保育園は10分以内で1m冠水するとなっていたが保育担当部署では把握していなかった。情報共有についてどうなっているのか。
- ・区域内での看板設置負担金、ゴミ拾いボランティア活動の際のゴミ処理費用などが自治協へ請求されてくる。包括交付金は減り、ひも付き負担金ばかり増え自由に使えるお金がほとんどない。(負担金を免除して自由に使える交付金だけにしてもらおうほうがいい)

<その他>

- ・PFI手法による給食センターの設置は議会でチェックできるのか。
- ・再議書に記載されていた理由は、再議をするのに適切な内容であったのか。
- ・ウィッツ青山学園高等学校への訴訟について、どんな事件として訴訟を起こしたのか。

伊賀市議会議長 様

平成29年7月25日

議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成29年度議会報告会 4 班

班長 赤堀 久実